



プロフィール

1974年千葉県勝浦市生まれ、仙台市在住。
2008年(株)クレッシュ設立。2011年の東日本大震災後、被災者支援を行うため友人とともにNPOヒューマン・タイズを設立、同年12月一般社団法人化、各種ボランティア活動を継続している。

復興支援活動で
人と人とのつながりが広がっていく

活動のきっかけ

自分も何かできればとの思いから

東日本大震災が起こって、佐々木さんは少しでも何かできることはないかと考えました。そんな時、知人から阪神淡路大震災で災害ボランティアリーダーとして活躍し現在は危機管理コンサルタントである山口泰信さんを紹介され、そのボランティア精神に感銘を受けました。友人たちに声をかけると同じ思いの人々がいました。NPO団体を組織、Tシャツを製作、販売して代金の一部を義援金として寄付する活動から出発しました。

活動の報告 (一例)

人から人へと支援協力の輪がつながる

まず義援金を募集するためにTシャツを作って販売することに。「絆」「震災復興 前向きに行こうぜ!」という文字は、佐々木さんが親交のある墨象家・荻野丹雪さんに依頼、デザイナー、プリント会社も快く引き受けてくれてできあがりしました。さらにヒューマン・タイズメンバーの会社の神戸本社が全面的に支援、Tシャツ販売は4月、神戸のイベントに出展することからスタート。後は人から人への紹介で全国に広がりました。Tシャツ1500円のうち500円、タオル1000円のうち300円を日本赤十字社に寄付しています。

その後は支援のマッチングの役割も担うようになり、被災地からの支援要望を聞き、ボランティア希望者を募って様々な活動に出かけています。物資支援、炊き出しから、いちご農家の手伝い、被災各地での写真洗浄、民家やお墓の清掃などなど。

少し変わったところでは、ニューヨーク在住の画家・中川直人さんと写真家・マグダレーナ・ソーレさんのサポートも。中川さんは11月に来日、被災地の人々の似顔絵を1000枚描く活動をしており、ソーレさんは12月に来日、被災地の風景や人物を撮影。2人の作品をニューヨークで展示する予定とか。佐々木さんも展覧会に出かけ支援を訴えたいといっています。

被災者の要望に応じて動いているうちに、いろいろな人と知り合って感動の日々。まさに「絆」の大切さ、素晴らしさを味わっています。

メッセージ

できることを一緒にやりましょう

震災に関する報道は徐々に少なくなってきております。しかしライフラインが復旧していない場所も多くあり、復興への道のりはまだまだ。支援はこれから何年も必要です。支援してほしい人は何でも頼んでみてください。ボランティア活動をしたい人は何でも聞いてみてください。誰にでもできることが必ず何かあります。知恵と汗を少しずつ出して、一緒にやっていきましょう。

【連絡先】

宮城県黒川郡富谷町成田2-3-3成田ビル 204号

電話 022-776-5411

メール cresh01@gmail.com



仙台農業園芸センターにて宮城野区・若林区の写真洗浄



山元町にて民家の瓦礫撤去



神戸六甲アイランドにてTシャツ販売



Tシャツ販売イベント時に寄せられたメッセージ